

さらなる未来へ



関西ねじ協同組合
創立20周年記念誌

平成24年(2012) - 令和4年(2022)

[表紙写真:ねじ散歩]

安心して使える製品を届けるという気持ちが製品に美しさとして表れます。

この写真のタイトルは「ねじ散歩」

さらなる未来へ、関西ねじ協同組合の皆様とこれからも共に歩めますようにとの
思いを込めた写真です。

写 真 神山貴至(株式会社神山鉄工所)

関西ねじ協同組合
創立20周年記念誌



目 次

ごあいさつ	関西ねじ協同組合 理事長	西川 倫 史	3
ごあいさつ	関西ねじ協同組合 第4代理事長	北 井 啓 之	4
ごあいさつ	関西ねじ協同組合 第3代理事長	中 江 良 一	5
祝 辞	一般社団法人日本ねじ工業協会 会長	佐 藤 義 則	6
第 1 章	関西ねじ協同組合 創立20周年記念式典		
	記念講演		8
	祝宴～新春互礼会～		9
	創立20周年 担当委員紹介		14
第 2 章	沿 革		
	平成24年(2012年)－令和3年(2021年)までのあゆみ		16
	国家栄典受章者		26
第 3 章	委員会・分科会の活動概要		
	委員会事業		28
	分科会事業		44
第 4 章	歴代役員年表 組合員・賛助会員名簿		
	歴代役員年表		52
	組合員名簿		60
	賛助会員名簿		65
編 集 後 記	創立20周年記念誌 担当委員長	檜 本 宏 志	68

ごあいさつ

関西ねじ協同組合 理事長 西川 倫史



関西ねじ協同組合は令和4年、創立20周年を迎えることができました。これもひとえに歴代の役員、ならびに組合員・賛助会員の皆さま、経済産業省や大阪府などの関係機関のご指導、ご支援によるものであり、心より感謝申し上げます。

さて、関西ねじ協同組合が誕生したのは21世紀に入ってすぐでした。私のような昭和生まれの人間からすると、21世紀は発達した科学技術のおかげで、貧困も人間同士の争いもないバラ色の未来になるものだと思っておりましたが、現実には、みなさまもご存じの通り非常に厳しい世界が待っていました。特に年々、その厳しさの度合いも増し、また変化のスピードも速くなってきており、目まぐるしく変化する経営環境はますます我々中小企業の存立を厳しいものにしております。このような激動の21世紀の初めに、5つの小さな協同組合を統合させた当時の関係者の方々の先を読む力には敬意を表します。

このような中、統合し大きな組織になった関西ねじ協同組合は、特に中小企業の弱い分野でもある人材確保・育成に力を入れてきました。創立当初から厚生労働省所轄「人材確保推進事業」に取り組み、数多くの研究会、講習会、研修会を実施しました。一方で、育成の面において、ねじ製造の技能検定制度構築にも取り組み、平成21年度に全国中小企業団体中央会所轄「中小企業活路開拓調査・実現化事業」を活用し、技能検定学科試験用テキスト素案を取りまとめました。この事業はねじ製造業界の全国組織である一般社団法人日本ねじ工業協会へ引き継がれ、現在では協会認定である「ねじ製造技能者検定」へと繋がっています。また、技術的な側面からは、JIS規格改訂に関して他の団体と協力し、ねじの製造者として原案作成に携わることができるようになりました。

諸先輩方の卓越した先見の明により、統合した関西ねじ協同組合はこの20年間、輝かしい成果を発揮したと自負しております。次の10年、20年、なお一層、理事を中心に組合員企業のお困りごとに耳を傾け、ねじ業界がさらに盛り上がるよう活動していきたいと決意しております。

最後に本記念誌刊行にあたりまして、関連業界の皆様をはじめ、担当役員の方々、そして組合員各位には大変なご協力、ご支援を賜りましたことを心より感謝申し上げます。

ごあいさつ

関西ねじ協同組合 第4代理事長 北井啓之



関西ねじ協同組合が無事20周年を迎えることが出来たことを大変うれしく思っております。

結成時から理事として組合の運営に参画させて頂き、この20年間に人材確保推進検討委員会の委員長、副理事長、そして最後に理事長まで務めさせて頂きました。私にとって大変価値のある経験と素晴らしい思い出になります。

先日亡くなった父の北井正次が、組合を結成するにあたり相談役をさせて頂いた事もあり、結成当時は未だ40になる前38歳で最年少の理事に抜擢して頂きました。

そして間もなく、人材確保推進事業や2世会K-2の発足にも携わらせて頂き、組合の発展に少なからず貢献をさせて頂けたのではないかと思っております。

今後の関西ねじ業界の発展には、協業や分業が重要だと考えています。そこには企業間の人脈や情報ネットワークが必要不可欠で、組合活動を通じて普段からの経営者同士や社員間の交流が果たす役割は小さくないと思います。K-2のメンバーを中心に、次代の関西ねじ業界を背負って立ってくれる若い人材に大いに期待をしています。

関西ねじ協同組合が今後も益々発展する事を心より祈念しております。

ごあいさつ

関西ねじ協同組合 第3代理事長 中江 良一



関西ねじ協同組合が20周年を迎えられたのも諸先輩方、現役会員の皆様、事務局の方々並びに多くの関係者の皆様のおかげであると感謝と喜びを申し上げます。

私は株式会社丸エム製作所の田島さん(1～3期)、株式会社ダイロックの箕村さん(4～6期)の後を引き継いで、7～8期の2期4年間に理事長として務めさせていただきました。

当時は関西の既存ねじ5団体が合併し、当組合が結成されて以来すでに12年が経過しており、協同組合としての形も出来上がっておりましたので、私の役割としてはより組合を盛り上げていくことにあると思います、研修会・勉強会、講演会等の行事を拡大することによって会員サービスを充実させ、組合の魅力を増大させることに尽力してまいりました。副理事長のケーエム精工株式会社の北井さん、西精工株式会社の西さん、松本ナット工業株式会社の松本さん、専務理事の池田金属株式会社の池田さん、理事の皆さん、事務局の橋本さん、関さん、ほか皆様のご指導とご協力にこの場をお借りして改めましてお礼申し上げます。皆様のおかげをもちまして賛助会員様を含め200社余りの会員数となり活気ある協同組合になったと思っております。また任期中に大阪鋸螺卸商協同組合様との合同事業を開始することができ、互いの講演会への参加、親睦ゴルフコンペ、ハイキングなど現在に至っております。これも当時の理事長であった増谷ボルト株式会社の増谷さんや理事の皆さんのご理解とご協力があったのことに感謝いたします。

最後にこれからも関西地区のねじ製造企業が繁栄を続けていくことを祈念いたしております。

関西ねじ協同組合、ブラボー！ そしてさらに『舞い上がれ！』

祝 辞

一般社団法人日本ねじ工業協会 会長 佐藤 義則



この度、創立20周年を迎えられるに当たり御祝辞を申し上げます。

貴組合が、在阪5組合を統合し統一された平成14年以降、現在のコロナ禍まで数多くの危機を乗り越え、関西という国内最大のねじ産業の集積地において、多品種のねじを生産販売する多くの組合員を擁する関西を代表する協同組合となり、目出度く20周年を迎えられることは誠に意義深いものがあり、心から御慶び申し上げます。

貴組合員の皆様が一致団結して非常に活発な活動により築かれた今日の繁栄は、これまで貴組合を作り上げてこられた歴代役員の方々をはじめ、組合を支えてこられた組合員の皆様の熱意と努力の賜物と、深く敬意を表する次第であります。

さて我が国では政府施策により日本経済は成長するとの見方もありますが、我々中小企業の足元では、引き続き材料高騰・関連資器材の高騰、エネルギー価格の高騰、人材確保難に加えて、脱炭素への対応、SDGsへの対応などの取組み等によるコスト上昇など抱える課題は数多くあります。

これら荒波に向かって、貴組合がこれまで培ってこられた英知により、関西よりねじ産業の先頭に立って牽引して頂ければと思っております。

最後になりましたが、貴組合並びに貴組合員の皆様の益々の御降昌、御発展を御祈念申し上げます、私のお祝いの挨拶とさせていただきます。